

経営比較分析表（令和3年度決算）

佐賀県伊万里・有田地区医療福祉組合 伊万里有田共立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	ド訓	救臨感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	17,283	-	第2種該当	7：1

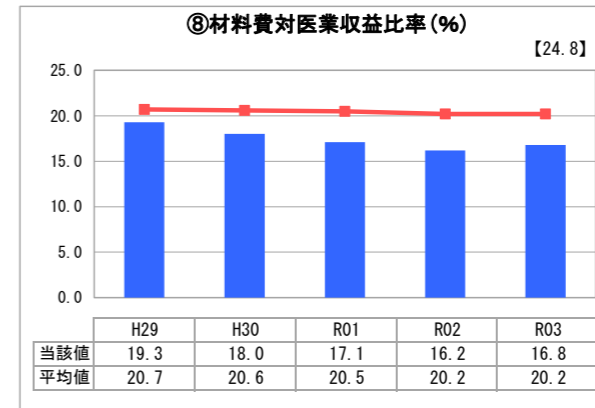
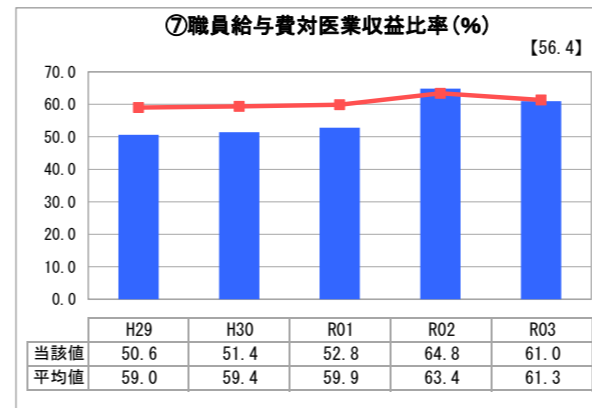
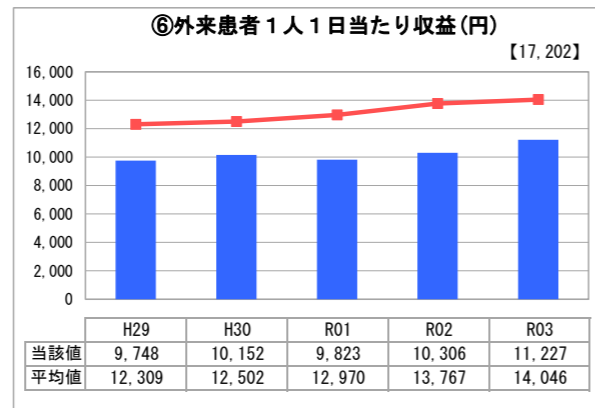
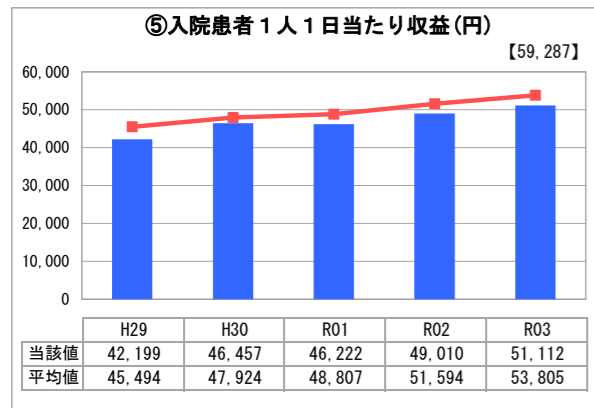
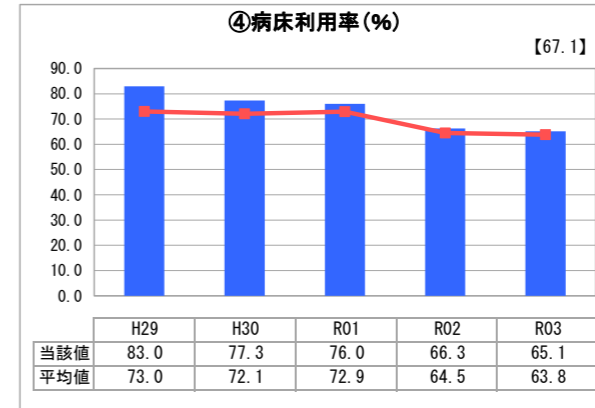
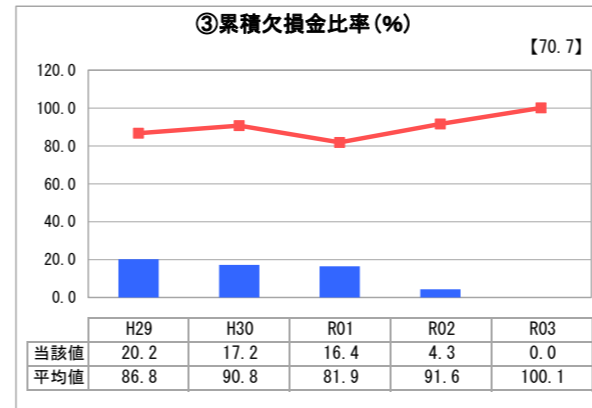
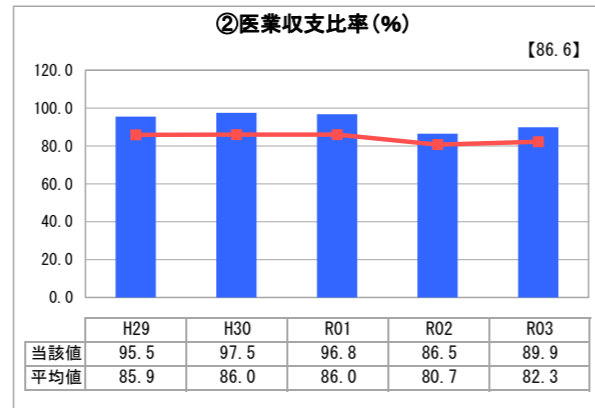
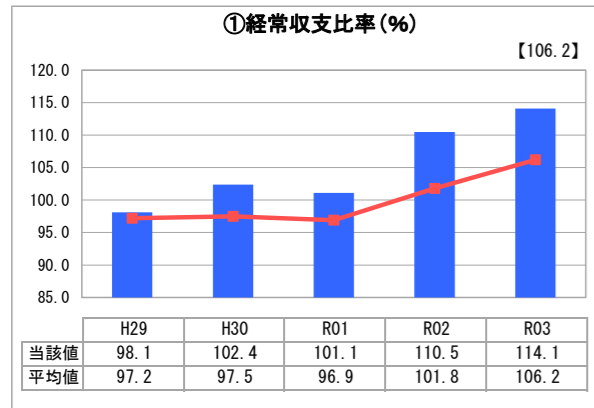
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

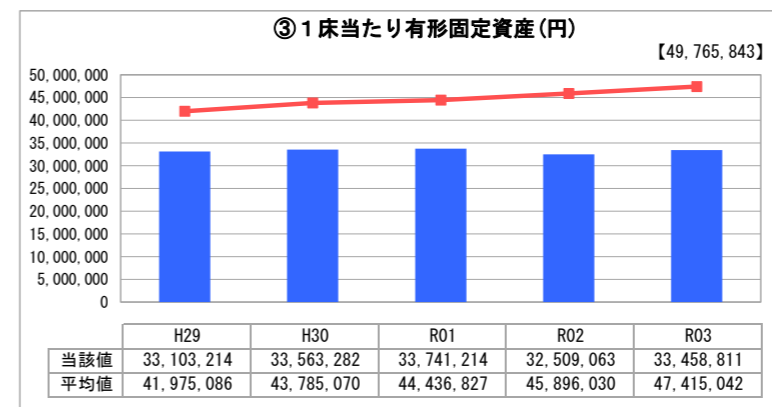
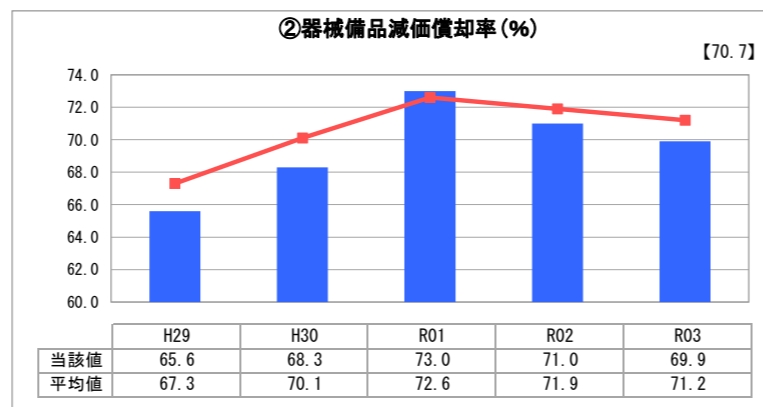
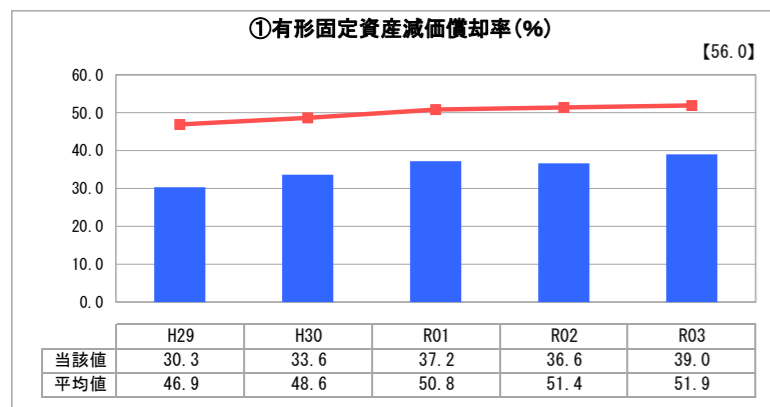
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
202	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	206
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
195	-	195

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

- ①佐賀県西部地域の地域医療支援病院として、急性期医療に対応した質の高い医療を提供する役割
- ②患者の紹介・逆紹介や高度医療機器の共同利用、診療情報地域連携システムの活用等により、地域における病病・病診連携を強化する役割
- ③医療従事者の資質向上を図るための研修会を開催するなど、地域医療の充実を担う役割
- ④災害発生時における医療救護活動の実施や医療救護班の派遣など、災害拠点病院としての役割

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①②経常収支比率は昨年度より増加し4年連続の黒字となった。医業収支比率は類似病院平均値を上回るものの、医業収益のみで医業費用を賄うことはできていない。
- ③累積欠損金が解消し、累積欠損金比率は類似病院平均値を大きく下回っている。
- ④病床利用率は平均を上回っているが、減少傾向が続いている。
- ⑤⑥入院・外来患者1人1日当たり収益は、昨年度より改善したものの依然平均を下回っている。改善を図るため、救急患者の積極的な受入や医師確保に向けた関係機関への要望等を行っている。

2. 老朽化の状況について

- ①平成24年3月開院のため経過年数が10年と比較的少ないことから、有形固定資産減価償却率は平均を下回っている。
- ②器械備品の更新を計画的に進めたことにより、器械備品減価償却率は昨年度より改善し平均を下回ることができた。
- ③1床当たり有形固定資産は、昨年度よりやや増額となったものの平均を約1,400万円下回っており、設備投資は適切であることを示している。

全体総括

患者数はコロナ禍以前の水準へ戻る兆しがやや見られるようになり、それに伴い医業収益も昨年度比で増加したが、依然として厳しい経営状況にあることは医業収支比率からも見て取れる。しかしながら国や県からの支援を受けつつ経費節減に努めることにより、4年連続で黒字を達成することができた。

今後も、健全かつ安定的な病院運営を推進するとともに、伊万里市及び有田町が共同運営する中核病院として、佐賀県西部医療圏における医療機関同士の連携や医療資源の効率的運用の促進等を通じて、地域住民が安心して生活できるよう、医療環境のさらなる充実を目指していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。